

洪水・土砂

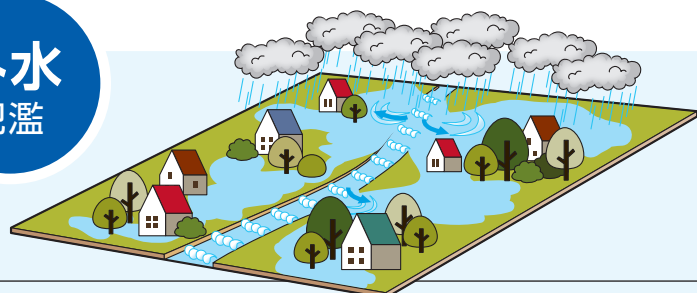
大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。
事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりえる災害に対応しましょう。



川の氾濫

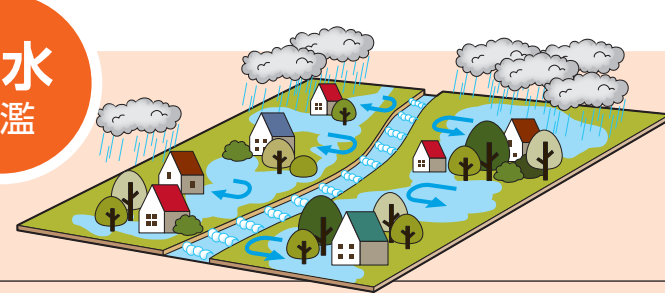
雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「**外水氾濫**」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「**内水氾濫**」の2タイプがあります。

外水氾濫



大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防が決壊させて川の水が外にあふれておきる。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。

内水氾濫



その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まっておきる。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。

土砂災害

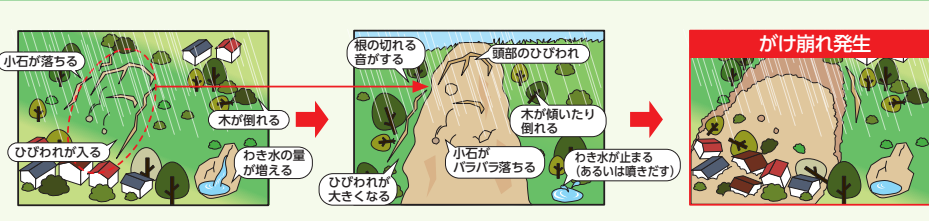
※下記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

土砂災害警戒情報は、大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに熊本県と熊本地方気象台が共同で発表しています。
土砂災害の危険がある地域にお住まいの方は、特に早めの避難が重要ですので、土砂災害警戒情報を避難の参考にしてください。
土砂災害警戒情報が発表されていなくても、下の図のような土砂災害の前兆に気づいた場合には、直ちに周りの人と安全な場所に避難し、西原村役場までご連絡ください。



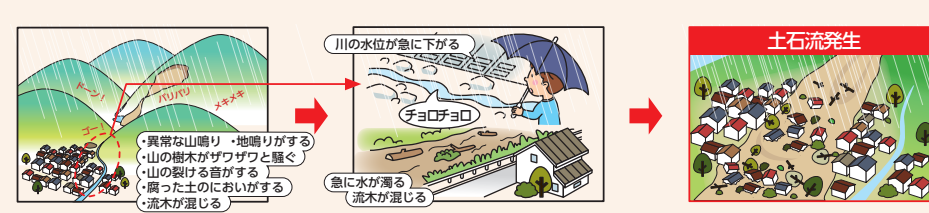
がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。
がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。
その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。
また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



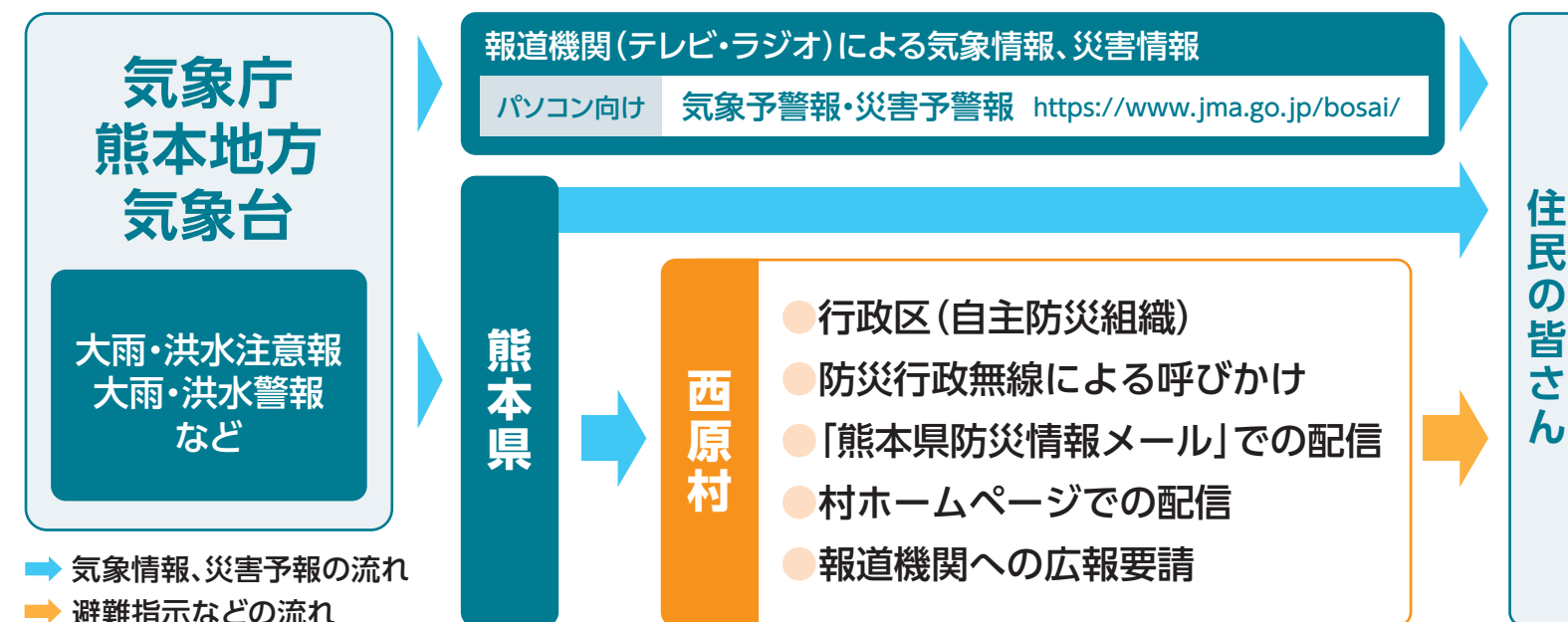
防災情報

村では、皆さんの生命に危険が及ぶと判断した場合、警戒レベル3から警戒レベル5を発令し、皆さんに避難を促します。
避難指示などを発令するときは、さまざまな状況を総合的に判断して発令します。



気象情報・防災情報などの流れ

災害に関する注意報や警報が発表されたら、村からの情報に注意してください。



警戒レベルと避難のタイミング

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報	防災気象情報(警戒レベル相当)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保※1 (市町村発令)	大雨特別警報 はんらん 氾濫発生情報 (暴風特別警報)
～警戒レベル4までに必ず避難!～				
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示 (市町村発令)	土砂災害警戒情報 はんらん 氾濫危険情報 高潮警報・特別警報
3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2 ●避難に時間のかかる要配慮者(高齢者・障がい者・乳幼児等)とその支援者は避難 ●高齢者等以外の人も危険を感じたら自主的に避難	高齢者等避難 (市町村発令)	大雨警報・洪水警報 はんらん 氾濫警戒情報 高潮注意報(警報の可能性) 暴風警報※2
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報 (気象台発表)	はんらん 氾濫注意情報 (強風注意報)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (警報級の可能性) (気象台発表)	

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである